

やしろに住むみんなでくらしやすいやしろの未来を考える

やしろの地域づくり通信

VOL.

1

2024.11.01

今回のテーマ：みんなで考える除雪支援

9月19日(木)地区公民館で、昨年度から取り組みが始まっている助け合い・支え合いの地域づくり会議が行われました。区長さんや民生委員さん、昨年度の会議参加者の皆さんに集まっていただき、まずは昨年度行われた会議について振り返り、屋代の未来について意見交換を行いました。そのときの様子をお伝えします！

助け合い・支え合いの地域づくり会議とは？



地区に住むみんなが、住み慣れた地域と家庭で安心していきいきと暮らし続けるために、住民みんなが繋がって、お互いに助け合い、支え合える地域をつくっていくための会議です。

こんにちは！昨年度、屋代地区公民館運営委員会の委員長として、助け合い・支え合いの地域づくり会議に参加した朝倉です。

昨年度の会議では、まずは屋代地区の課題をそれぞれ出し合い、どうすればその課題を住民で解決できるのかについて話し合いました。。多くの課題が出された中で「自分達の地区でも、支え合うための有償のボランティアの仕組みを立ち上げたい」という力強い声があげられました。

特に、私が強い興味を持ったのは、「除雪支援」についてです。10年後20年後のこの地区のことを考えたとき、雪国に暮らす私達にとって、自分が住みやすい地区であるために、今のうちから取り組みをしていかなければならないと感じました。コロナ禍によって、多くの地区のイベントや自治会活動は規模が縮小され、ますます地域内での繋がりが希薄になる中、誰かが声をあげて、動いていくしかありません。

みなさんには、屋代地区づくり計画で掲げられている「交流を含め、心温まる安全・安心な地区づくり」を達成するためにも、今日はたくさんの意見、考えを出していただき、いい会議を一緒に作りましょう！



運営委員会顧問
朝倉さん

各地区での取り組み

既に除雪に関する取り組みを独自に実践している事例が紹介されました！



その1 竹向地区

有志が集い、向友会として、お祭り、草刈、おさいと焼きなど、自治会行事を進める中で除雪支援についても話し合いの場がもたれている。実態としては、近年の少雪の影響で実働まではできていない状況。

その2 時沢地区

地区にある共有の施設は、住民たちで除雪を行うことになっており、近接する自治会とも協力体制が整っている。時沢自治会では、ひとり暮らしなど、自力での除雪が難しい人に対して、自治会内の有志で除雪支援を行っており、支え合いの仕組みができています。

その3 相森地区

平成30年に、おさいと焼きを復活させよう！と自治会で声があがったタイミングで、除雪支援の問題についても話し合いの場が持たれた。役員 の賛同を得て、実際に自治会内の案内を配布。いつでも活動ができる体制が既に整っている。

注目 糠野目地区での有償ボランティアの仕組み

除雪に困っている高齢者のために、既にあった団体が声をあげて除雪支援の仕組みをつくるべく立ち上がった”ぬかのめ桜会”。支援できる立場の人と、支援を必要とする立場の人のマッチングは、団体がすべて行っている。

料金

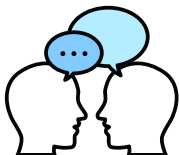
1回あたり30分500円

(玄関から道路までの間口除雪のみ)

利用方法

チケット制/シーズン6回券を購入

※未使用分は返金可能



町内で実際に行われている取り組みの状況や、有償ボランティアの仕組みについて情報共有を行ったあと、グループに分かれて話し合いを行いました！熱い議論の内容は裏面でご紹介！



グループワークで出た意見



グループA

▶現状分析

- ・高齢になってもみんな元気で頑張っている。
- ・隣近所の助け合いでどうにかなっているけど、助けてもらった人は気をつかうかも。
- ・助け合いに関われる人が少なくなってきた。

▶今後どうしていくべきか

- ・支援してもらった側の人気が気を遣わずに気軽にお願いできるようにするためにも、有償ボランティアの立ち上げも検討していく必要がある。
- ・話し合いの場が必要。時には**大字単位**など小さな集まりでの話し合いも必要。

▶現状分析

- ・高齢者が比較的元気で、お互い様の意識がある。
- ・今はなんとか除雪を頑張っている高齢者も多いがいずれできなくなってしまうだろう。
- ・新しい団体の立ち上げは難しいが、既にいろんな団体があるので、支援の下地はある。

▶今後どうしていくべきか

- ・コロナ禍でなくなってしまった行事を復活。
- ・**地域行事をきっかけにして、**気軽に声かけができる関係をつくっていく。

グループB

グループB

▶現状分析

- ・隣近所の助け合いでどうにかなっている。
- ・将来への不安は大きい。

▶今後どうしていくべきか

- ・まずは誰が困っているのか、実態の把握が必要。役員だけでなく、広く情報共有が必要。
- ・**地域支え合いマップに除雪支援の情報も落とし込んで、可視化していきたい。**

グループC

▶現状分析

- ・高齢者が比較的元気で、お互い様の意識がある。
- ・今はなんとか除雪を頑張っている高齢者も多いがいずれできなくなってしまうだろう。
- ・新しい団体の立ち上げは難しいが、既にいろんな団体があるので、支援の下地はある。

▶今後どうしていくべきか

- ・コロナ禍でなくなってしまった行事を復活。
- ・**地域行事をきっかけにして、**気軽に声かけができる関係をつくっていく。

▶今後どうしていくべきか

- ・除雪支援だけを行うのではなく、他の行事と関連づけて実施していく。
⇒ **楽しみながら実施できる**
- ・コミュニケーションを大切にする。
- ・昔から地区にいる人と、新しく地区にはいってくる人が交流できる場をつくり、理解しあう。
- ・地域支え合いマップを作成し、実態把握する。



これから屋代に住むみんなで取り組みたいこと



『除雪支援』について

みんなで話し合う

自治会役員だけでなく、住んでいるみんなが関心もち、「除雪支援」で何ができるか話し合ってみましょう！



『地域支え合いマップ』

を作成する

既に作成済自治会も、改めて更新作業を。日常の見守りや支え合いの視点、除雪の視点をマップに盛り込み地区の状況が可視化されます



『有償ボランティア』

の可能性を考える

自主防災組織や有志の会など既存の組織と一緒に生活を支援する仕組みを考えてみる。

**現在
進行中!**

すでに除雪支援のしくみができあがっている**竹向、時沢、相森**のほかに、この会議をきっかけにして地域で話し合いをしたい！という自治会が増えています。

今後の進捗状況については、この通信や地区だよりを通じてお知らせしていきます。自分の自治会でやりたい！という方や、取り組みの内容に興味のある方はぜひ、町社会福祉協議会までご連絡ください！
地域支え合いマップ作りの新規作成や更新についてもお気軽にお問合せください。

➡ **町社会福祉協議会** ☎52-4486

今年の冬はどのくらい雪が降るでしょうか。今回の会議を経て、どんな状況になっても、**住民同士の支え合い・助け合い**でみんなが笑顔になれる除雪支援ができそうな、屋代地区が出来上がりそうですね。